土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調　　査　　名　二級河川瀬野川水系畑賀川外災害復旧事業に伴う業務委託

事　業　・　工　事　名

調査目的及び調査対象　河川　構造物基礎

ボーリング名	Bor No.1	調査位置	広島県広島市東区上温品4丁目地先			北　緯	34° 25' 37.4400"
発注機関	広島県西部建設事務所			調査期間	令和元年 7月29日～ 令和元年 7月31日	東　経	132° 31' 09.0800"
調査業者名		主任技師		現場代理人		コア鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	DL 72.51m	角度	180° 上 90° 下 0° 0°	方向	北 0° 東 90° 南 180° 西 270°	地盤勾配	24° 水平 0° 鉛直 90°	使用機種	試錐機	東邦D1-B
総削孔長	5.00m								エンジン	ヤンマーNFD-12型	ポンプ	東邦製BG-3

標尺(m)	標高(m)	深度(m)	現場土質名（模様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位／測定月日	標準貫入試験 深度—N値図	N値	深度(m)	100mm毎の打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量	試料採取 深度(m)	試料番号	採取方法	室内試験	削孔月日
1				玉石混じり細礫		茶灰～暗灰	rd3		河川堆積および工事盛土により構成されている。 砂：中砂～粗砂を主体としている。 礫：Φ5～10mm程度の細礫を混入。 基盤岩質の玉石散在する。（ブロック～短棒状で採取される）	7/29 0.80		19	1.15 1.45	5	7	7	19/300							7/29
2	70.51	2.00		粗礫		白灰			風化した基盤岩（花崗岩）である。 全体的に脆く，礫～ブロック状で採取される。 礫は，風化によりハンマーにて容易に砕ける。			50以上	2.10 2.20	50			50/100	100						
3	70.01	2.50		花崗岩		淡赤白	rd5	rd5	調査地周辺の基盤岩（花崗岩）である。 コア肌，比較的新鮮で硬質であるが，亀裂が発達している。 採取試料はブロック～短棒状コアで採取される。 亀裂面では，褐色に変色するほか，岩片もしくは礫を挟む。 コア観察による岩級は，CL級を主体とする。			50以上	3.00	貫入不能			50/0	0						
4												50以上	4.00	貫入不能			50/0	0						
5	67.51	5.00										50以上	5.00	貫入不能			50/0	0						7/30
6																								
7																								
8																								
9																								
10																								